

環境調査結果のお知らせ

令和2年5月14日午前9時から浦ノ内湾の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は水温が19～22℃、塩分が32～34、溶存酸素量が4～9mg/Lでした。
また、透明度は3～4mで、有害種のカレニア・ミキモトイ及びケラチウム属が確認されました。

水温と塩分(表1・2)

水温は18.8～22.0℃、塩分は32.1～33.7でした。
漁場では前回調査時(R2.4.16)と比較して、水温は全層で2.0～4.6℃上昇しました。塩分は全層で0.4～0.9上昇しました。

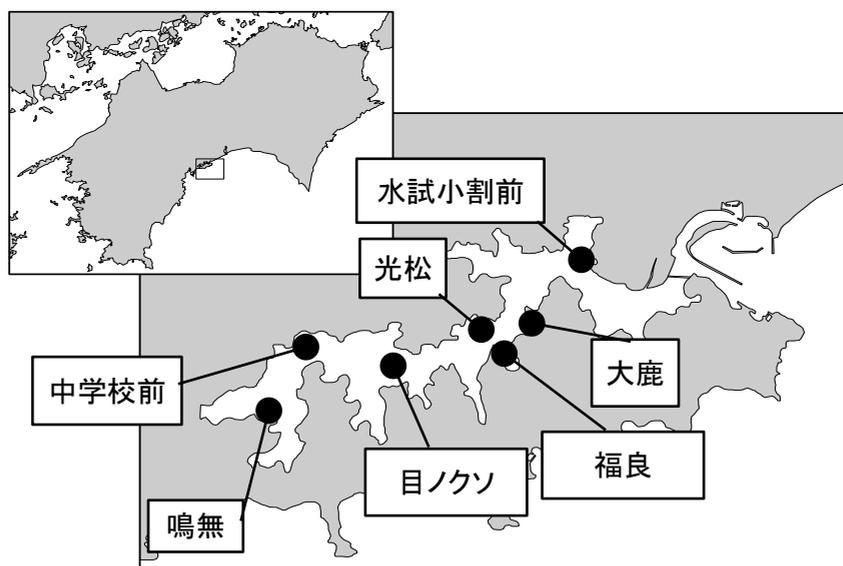
溶存酸素量(表3)

溶存酸素量は3.8～8.9mg/Lでした。
漁場では前回調査時(R2.4.16)と比較して、溶存酸素量は全層で0.2～2.2mg/L減少しました。

透明度・プランクトン(表4・5)

透明度は3.0～3.8mでした。
検鏡の結果、有害種のカレニア・ミキモトイが最高で20 cells/mL、ケラチウム属が最高で26cells/mL確認されました。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ: 数百～数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属: 10～100cells/ml(魚類へい死)
- ・ケラチウム属: 100cells/ml～(餌食いの悪化)

環境調査結果表(水温・塩分・プランクトン等)

表1 水温(°C)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均※	前回調査(4/16)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	21.5	22.0	21.7	21.6	21.4	21.7	17.1	4.6
2m	21.5	21.7	21.5	21.1	21.0	21.4	17.1	4.3
5m	20.5	20.5	20.7	20.7	20.8	20.6	17.4	3.2
10m	19.1	19.6	19.6	19.6	—	19.6	17.5	2.1
B-1m	19.0	18.8	18.9	19.0	20.6	18.9	16.9	2.0

表2 塩分

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均※	前回調査(4/16)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	32.1	32.3	32.5	32.4	32.8	32.4	31.6	0.8
2m	32.4	32.6	32.6	32.9	32.9	32.7	31.9	0.8
5m	33.3	33.3	33.4	33.4	33.4	33.4	32.5	0.9
10m	33.3	33.4	33.5	33.5	—	33.4	32.9	0.5
B-1m	33.3	33.4	33.4	33.4	33.7	33.4	33.0	0.4

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均※	前回調査(4/16)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	8.6	8.5	7.9	8.6	8.5	8.3	8.5	▲ 0.2
2m	8.7	7.9	7.8	8.0	8.1	7.9	8.6	▲ 0.7
5m	8.9	8.2	7.8	7.6	7.8	7.9	8.1	▲ 0.2
10m	5.8	6.6	6.0	5.9	—	6.1	6.6	▲ 0.5
B-1m	4.1	3.8	4.1	4.2	7.4	4.0	6.2	▲ 2.2

※ 目ノクソ・光松・大鹿の平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前
水深	12.7	16.2	18.1	17.8	10.1
透明度	3.4	3.4	3.8	3.0	3.2
前回(4/16)	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ ミキモトイ	クラチウム属	珪藻類
中学校前	0m	3	2	40
	2m	4	9	170
	5m	9	6	110
	10m	17	12	15
	11m	20	21	60
目ノクソ	0m	4	3	15
	2m	5	0	25
	5m	1	6	40
	10m	14	12	0
	15m	0	26	0
光松	0m	7	1	200
	2m	3	2	240
	5m	6	10	170
	10m	0	2	40
	15m	0	10	140
大鹿	0m	2	0	10
	2m	7	1	12
	5m	4	2	60
	10m	0	3	20
	16m	0	5	20
水試小割前	0m	3	2	5
	2m	2	0	15
	5m	8	4	20
	9m	2	0	2
鳴無	7m	13	2	40
福良	8m	8	7	-

貝毒プランクトン調査結果

令和2年5月14日、浦ノ内湾で貝毒プランクトン調査を行いました。
麻痺性貝毒原因種及び下痢性貝毒原因種は確認されませんでした。

麻痺性貝毒原因種 単位 cells/mL換算

調査地点	水深(m)	アレキサンドリ ウム属	ギムノディニウ ム・ カテナータム
中学校前	0	0.00	0.00
	2	0.00	0.00
	5	0.00	0.00
光松	0	0.00	0.00
	2	0.00	0.00
	5	0.00	0.00

下痢性貝毒原因種 単位 cells/mL換算

調査地点	水深(m)	ディノフィシス・ アキュミナータ	ディノフィシス・ フォルティ	ディノフィシス・ コウダータ	ディノフィシス・ ロツンダータ	ディノフィシス・ インファンディ ブラ
中学校前	0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
光松	0	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	2	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	5	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00